



忘れてない？サイフにスマホに火の確認 平成30年度全国統一防火標語

11月9日の「119番の日」は、昭和62年（1987年）に自治省（現総務省）消防庁が制定しました。今ではなじみの深い「119番」という番号ですが、昭和2年からこの番号が使われるようになりました。それまでは112番が緊急電話番号として指定されていましたが、誤った接続が多かったため、当時は地域番号（局番の第一数字）として使われなかった119番が新たな緊急番号として設定されました。

119番通報の4つのポイント

・通報の目的

「火事」または「救急」、どちらかをはっきり伝える。

・場所はどこか

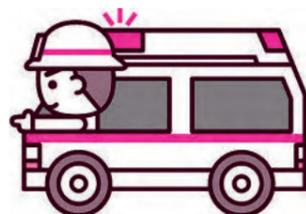
住所が分かる場合は、市町村名から正確な番地や階数、部屋番号を伝える。わからない場合は目印となる建物や電信柱の番地表示、交差点名を伝える。

・何がどうしたのか

火事の場合は、「住宅から火が出ているの見える」など。

・通報者について

通報した本人の名前と電話番号を知らせる。あとから確認が取れるように、必ず自分の名前と電話番号を伝える。



秋の全国火災予防運動

11月9日から11月15日は「秋の全国火災予防運動」として、防災意識を高める期間です。

春と秋に行われる全国火災予防運動のルーツは1930年であり、戦前から全国火災予防運動の前身となる運動がありました。1953年に全国火災予防運動という名前に改められました。

当時は、全国火災予防運動の実施時期は時期によりズレがあったと伝えられていますが、1989年以降に全国火災予防運動の時期が定められ、消防庁や地方公共団体を中心となって様々なイベントを毎年開催されています。



火災を予防するために

3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、近隣の協力体制をつくる。

茨城おとな救急電話相談



平日 17:30～翌朝 9:00
(月～土曜日)

休日 9:00～翌朝 9:00
(日、祝日、年末年始)



看護師等が救急車要請の可否や応急手当アドバイス等を実施し、皆さんの医療相談体制の充実や不要な救急要請の抑制を目的として10月1日から開始されています。急な病気で心配なとき、看護師にご相談ください。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から

短縮ダイヤル

#7119

または

03 - 5367 - 2365

相談は無料です。ただし、通話料は利用者負担となります。

茨城子ども救急電話相談

子どもの急な病気で心配なときご相談ください。看護師がお答えします。相談は無料ですが、通話料は利用者負担です。

平日 17:30～翌朝 9:00
(月～土曜日)

休日 9:00～翌朝 9:00
(日、祝日、年末年始)

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から

短縮ダイヤル

#8000

または

03 - 5367 - 2367



●お知らせ●

8月24日に京都市で開催予定だった第47回全国消防救助技術大会は、台風20号等の影響により中止となりました。応援して下さった皆さんに厚く御礼申し上げます。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119